

みんなのふるさとにげられ話 38

小学校の生徒が奉納した幟旗 のぼりはた

豊田では、西から矢崎組、上組、中組、下組と講中くわちゆうがわかれており、矢崎組が八幡神社、上組が白鬚神社びやくす、中組が天満宮（天神社）、下組が山王社（日枝神社）をそれぞれ祀っていました。これらの神社は、今ではすべて鎮座の若宮神社わかしんに合祀されています。

このうち天満宮は、平成5年（1993）に若宮神社に合祀されるまで、現在の通称たぬき公園（豊田四丁目）の場所にあります。祭神は学問の神とされる菅原道真です。

写真の幟旗は、道真の死後一千年となる明治35年（1902）3月25日、天満宮に奉納された幟旗です。長さは4.93、幅は0.993あります。豊田尋常小学校の生徒がお金を出し合って布を買い、当時の藪内勝繁校長かたしる

が「みこ筆（稲藁の芯を取り出して作った筆）」を用いて、「奉献天満宮」と墨書しました。明治36年度の豊田尋常小学校の在籍生徒数は、四年生までで、男子28人・女子32人でした。3月25日はまた、豊田小学校の創立記念日でもあります。

満宮の幟旗（豊田中組講中所蔵）

